

第2次群馬県企業局経営基本計画 進捗状況

(令和7年度実績)

令和8年9月
群馬県企業局

I 電気事業



経営方針 (主な施策の方向性)

(1) 電力の安定供給

(2) 再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消

(3) 収益力の向上と効率的な運営

< R7年度の取組 >

(1) 電力の安定供給

- ・水力発電所リニューアル
四万発電所・白沢発電所・桐生川発電所 工事中
天狗岩発電所 調査中
※関根発電所は修繕に変更、矢倉発電所は圧油装置レス化等に変更

(2) 再生可能エネルギーの利用拡大と地産地消

- ・新規発電所の建設
霧積発電所の運転開始、事業化した3発電所建設の推進
- ・エネルギーの地産地消の推進
「電源群馬水カプラン」に代わる新たな取組として
「地産地消型P P A（群馬モデル）」による電力供給を継続
- ・水素エネルギー利活用
太陽光発電や水素エネルギーを活用し、災害時にも安定的な電力供給を可能とする地域マイクログリッドを構築し、運用開始
- ・発電所等を地域活性化の資源として活用
ハッ場発電所のプロジェクションマッピングの一般見学を実施

(3) 収益力の向上と効率的な運営

- ・F I T対象及びP P Aを除く水力発電所について一般競争入札を実施
- ・ハッ場発電所についてFIP移行を前提に一般競争入札を実施
- ・ICT等を活用したDXの推進
タブレット端末を用いた巡視点検を拡大
未整備の発電所に構内ネットワークを構築

数値目標

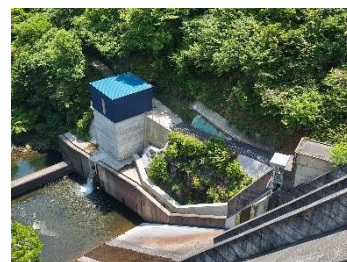
R12目標	R7実績	評価
・ 運転可能率 98.3% → 99.0%	97.2%	未達
・ 水力発電所リニューアル 4か所 (進捗率 100%)	工事中3発電所 調査中1発電所 (43%)	遅延
・ 新規発電所の建設 5か所 (進捗率 100%)	完成 1発電所 設計中3発電所 調査中1発電所 (37%)	遅延



〔枯木沢みらい発電所発電所完成イメージ〕



〔白沢発電所リニューアル工事〕



〔霧積発電所〕



〔はたかのめぐみ かわば発電所建設予定地〕

II 工業用水道事業



経営方針 (主な施策の方向性)

(1) 強靱な工業用水道の構築

(2) 収益力の向上と効率的な運営

(3) 良質な工業用水の供給

< R7年度の取組 >

(1) 強靱な工業用水道の構築

- ・ 渋川工業用水道の更新・改良
配水池・濃縮槽耐震補強工事の実施
配水管路強靱化（吾妻川横断部）詳細設計委託の実施
- ・ 東毛工業用水道の更新・改良
北ルート配水管路強靱化基本設計委託の実施
- ・ 職員の技術力向上に向けて、保安研修を実施
- ・ 配水管路漏水事故を受け、管路付帯設備の修繕、補強工事を順次、実施

(2) 収益力の向上と効率的な運営

- ・ 給水価格の適正化
渋川工業用水道、東毛工業用水道において、電気料金の急激な高騰等や今後の設備更新に対応するため、アセットマネジメント※2を用いて今後の収支計算を行い、料金改定を検討
- ※2 施設・設備の老朽化が進む中で持続可能な事業運営を目指すため、中長期的な視点に立ち施設・設備の更新等を計画的に実行し、効率的かつ効果的に資金や資産を管理すること

(3) 良質な工業用水の供給

- ・ 新取水施設の方針検討
東毛工業用水道において、利根川の流心が変動したことにより将来的に取水不能になる可能性があるため、新たな取水施設の基本設計を実施

数値目標

R12目標	R7実績	評価
・ 年間契約水量 72,327千m³ → 75,092千m³ ・ 渋川工水の浄水処理施設の耐震化完了施設数 2 → 7 ・ 管路耐震化率 39.6% → 100%	72,374千m ³ (+47千m ³) 5施設 42.7% (吾妻川横断耐震化で100%)	未達 順調 順調

渋川工水耐震実施状況

実施済	沈澱池 管理棟、取水口建屋 配水池、濃縮槽
未実施	取水口、現場操作室



〔渋川工業用水道沈殿池補強〕



〔東毛工業用水道水管橋耐震化〕



〔東毛工業用水道全景〕

Ⅲ 水道事業



経営方針 (主な施策の方向性)	数値目標		
	R12目標	R 7実績	評価
(1)安全で質の高い水道用水の供給	- 年間協定水量 65,536千m^3 → 70,878千m^3 - 県央第一水道の更新・改良 (浄水処理能力の耐震化率) 29.0% → 100%	68,360千 m^3 (R5～7協定水量) 100% (1系2列完成)	順調 達成
(2)強靱な水道の構築			
(3)収益力の向上と効率的な運営			

<R 7 年度の取組>

(1) 安全で質の高い水道用水の供給

- 水質管理体制の充実・強化

原水の水質に対応した適切な浄水処理を行うと共に、水源域の長期的な水質変化を把握し、今後の水質管理に反映させるため、水源の水質調査を実施
水質検査技術の維持・向上に向けた外部精度管理事業への積極的参加

(2) 強靱な水道の構築

- 県央第一水道の更新・改良（耐震化）

令和5年度から1系浄水処理施設の耐震補強を含めた更新改良工事及び関連する監視制御改修工事を実施中であり、令和8年度に完成予定

(3) 収益力の向上と効率的な運営

- 年間協定水量見直しによる増量給水
県央第二水道において、受水市町と増量給水について協議を継続



〔技術研修（油吸着資材設置）〕



〔水質検査〕



〔県央第一水道浄水場〕

IV 団地造成事業



経営方針 (主な施策の方向性)	数値目標		
	R12目標	R7実績	評価
(1) 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成	・ 産業団地造成面積 250ha	累積97.6ha (R7:18.6ha)	順調
(2) 群馬県の立地環境や企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲	・ 産業団地の早期引渡し 100%	100%	順調
(3) 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進	・ 板倉ニュータウングリーンブロックの分譲 60区画の分譲	2 区画	概ね順調

<R7年度の取組>

(1) 企業誘致の受け皿となる産業団地の造成

- ・ 完 成 1団地 (18.6ha)
- ・ 事業中 6 団地 (126.5ha)

(2) 群馬県の立地環境や企業局の強みを結集した産業団地の早期分譲

企業の投資動向などの情報収集を行ったほか、地元市町村や県産業経済部（大阪事務所含む）と連携の上、企業誘致に取り組み、分譲・引き渡しを行った。

- ・ 分譲済 2団地 2区画 (16.6ha)
(内訳) 高崎玉村SIC北地区工業団地 …メイダイ/1.5ha
伊勢崎南部国領産業団地 …信越化学工業/15.1ha

(3) 街の賑わいづくりにつながる住宅団地の分譲促進

- ・ 板倉ニュータウングリーンブロックの分譲
第1期造成工事が完了、25区画分譲を開始し、2区画分譲した。



〔伊勢崎南部国領産業団地〕



〔館林北部第四工業団地〕



〔高崎玉村スマートIC北地区工業団地〕



〔板倉ニュータウングリーンブロック〕

V 施設管理事業



経営方針 (主な施策の方向性)
(1)収益力の向上と効率的な運営
(2)広く県民に親しまれるゴルフ場づくり

数値目標		
R12目標	R7実績	評価
・賃貸ビル入居面積 4,498㎡	4,232㎡	順調
・ゴルフ場利用者数 1 ゴルフ場当たり 45,000人/年	42,224人/年	未達

< R7年度の取組 >

(1) 収益力の向上と効率的な運営

① 格納庫事業

・入居者：4者 面積：2,908㎡ 入居率：84.1%

② 賃貸ビル事業

・入居者：33団体 面積：4,232㎡ 入居率：94.1%
・1団体が退去し、1団体が入居。



〔群馬ヘリポート格納庫〕



〔公社総合ビル〕

(2) 広く県民に親しまれるゴルフ場づくり

① 第5期の指定管理を開始（指定期間：R7.4.1～R12.3.31の5年間）

玉 村：(株)三商

前 橋：久松商事(株)

板 倉：東急リゾート&ステイ(株)

新玉村：金井興業(株)

② 板倉ゴルフ場クラブハウス建替工事や記録的な猛暑等の影響により、利用者数が大きく減少（▲2,923人）



〔新玉村ゴルフ場〕



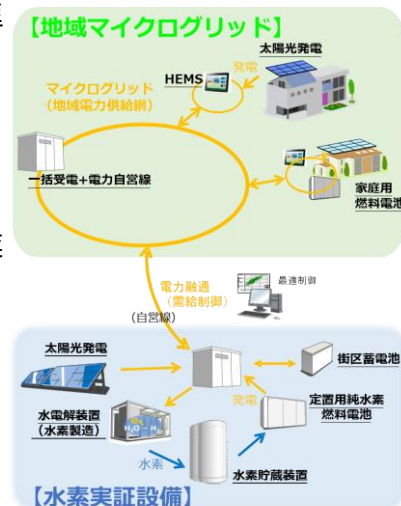
〔板倉ゴルフ場クラブハウス建替工事〕

全事業共通の取組



(1)経営健全化の取組

- ・組織体制の整備と適正な定員管理
発電事務所の体制整備など
(リニューアル工事へ対応するため、建設係設置)
- ・人材育成 (企業局技術系職員人材育成基本方針の策定)
- ・女性職員、障害者の活躍推進
- ・未利用資産の処分等資産の有効活用
- ・民間ノウハウ・活力の活用
指定管理者制度、
住宅団地分譲PR、
地域マイクログリッド事業
及び水素実証事業、
GX産業団地構想など



〔水素エネルギー実証 (イメージ) 〕

(2)地域貢献

- ・「ぐんま未来創生基金」への繰出
- ・地域振興積立金による文化・スポーツ事業への支援
- ・「再生可能エネルギー導入促進等積立金」による再生可能エネルギー導入促進や研究開発を支援
- ・事業用施設を活用した学習機会の提供等
- ・市町村等に対する小水力発電事業の技術支援、相談等の実施など



〔群馬交響楽団〕



〔ぐんまマラソン〕



〔施設見学会〕



〔市町村の小水力発電所視察〕

(3)経営課題と新規事業の展開に向けた取組

- ・DXの推進
 - └ タブレット端末を用いた巡視点検を拡大
 - └ 通信環境整備の対象発電所を拡大し、新たに2箇所整備を実施。浄水場内の通信設備構築、クラウド巡視の導入検証。
 - └ 令和6年度調査研究事業を受け、公共工事に関する要領・要綱・通知等について、クラウド型閲覧システムを導入。
- ・調査研究事業の推進
R7研究テーマ：
 - 若手職員による『技術力』の継承についての研究
 - デジタル技術 (生成AI・BIツール・業務可視化ツール) を活用した業務効率化とナレッジ共有に関する研究
 - 蓄電池・蓄電所の可能性と新電力市場参入に関する市場調査研究
 - オフィス空間のリノベーションによる業務効率化・職員のパフォーマンス向上
- ・PRの実施 作成した群馬県企業局のロゴマークの活用を開始